

CASE STUDY

*

GS Caltex Corporation



GS Caltex Corporationの動力技術チーム シン様

GS Caltex Corporation 電力需要資源(DR)の取引事業プロジェクト

導入製品

需要管理事業者用運営
システム(LAMS)

企業情報

会社名: GS Caltex Corporation
設立年月日: 1967年 5月19日
事業内容: 石油製品の製造・販売
紹介: GSグループの系列会社で石油・
化学・エネルギー事業を行う韓国を代
表するエネルギー企業

電気エネルギーの効率を高める企業であるGS Caltex Corporationは電気を販売するエネルギー事業に徐々に関心を持ち始め、昨年11月、電力需要資源の取引市場に本格的に進出した。そのなかで電力需要資源を体系的に管理できるシステムがなかったため、沢山の難しさがあった。

このような難しさを解決するため、アイオンコミュニケーションズ(以下、アイオン)の需要管理事業者用運営システム(LAMS)を導入した。今から同社の動力技術チームのシン様に‘GS Caltex Corporation、電力需要資源(DR)の取引事業プロジェクト’について具体的に聞いてみた。

インタビュー日

2015年12月

■ プロジェクトの背景および目標

“ソリューション導入による電力需要資源管理システムの最適化および時間の短縮”

アイオンコミュニケーションズ(以下、アイオン)社とプロジェクトを進行する前は一人でエクセルを利用して生産工場のゲートウェイ資料などの膨大な資料を管理する必要があったため、時間がけっこうかかったし、それだけのミスも多かったです。そのため、電力需要資源をより効率的に管理することでシステムを最適化し、時間とミスを減らすことが今回プロジェクトの一番大きな目標です。

■ 導入理由

“大手企業の成功的な導入事例を通してアイオン社の技術開発の力量および能力に対して厚い信頼ができたため、導入を最終決定”

安定的な電力需要資源運営システムを通して電力需要資源を管理にかかる時間と費用を短縮するため、この分野の企業調査を長い時間にわたって行いました。この際にアイオン社のシステムが電力需要資源の取引市場でよく知らせた大手企業で導入されていて、成功的に使用中であるとの事例をみました。そしてアイオン社の技術開発の力量及び能力に対して厚い信頼ができたため、導入することになりました。

■ 導入後の効果

“必要な情報が見やすく具現されている
ダッシュボードを通じて、緊迫した瞬間に正確な
意思決定ができることが期待される。
また持続的かつ安定的なシステムの管理(保守)を
受けることができるため、安心!”

アイオン社の顧客に合わせたダッシュボード画面を通じてグラフのスケールを思い通りに、自由自在に調整するなど、必要とする様々な部分を一目で確認できるため、需要資源の管理が非常に便利となりました。

また、需要管理システムに力を入れている会社らしく、ソリューション内に電力市場の運営規則基盤の小さな部分まですでに機能化されているため、顧客社側で必要とする部分だけを効率的にカスタマイズすることが可能でした。アイオン社はこうした基本的な部分をよく知っている上で管理してくれるため、煩わしい作業はなくなり、時間と費用の削減ができました。

■ 今後の計画および感想

“DR市場に進出している他の企業にもアイオン社の需要管理事業者用運営システム(LAMS)を積極的に推薦!”

GS Caltex Corporationは今後も電力需要事業を引き続き拡張していく計画ですが、この際に便利な機能が内装されてあるアイオン社のシステムを活用して、さらに需要資源管理を体系的に行っていく考えです。また、今後のシステムの高度化作業を考慮して、これからもアイオン社と共に多様な部分に関して協議しながら、システムを補完・発展させていきたいです。

アイオン社の迅速かつカスタマイズされたサービスにとても満足しているため、DR市場に進出中の他の企業からお問合せがあるときは躊躇なくアイオン社の需要管理事業者用運営システム(LAMS)を推薦したいと思います。